

# ひかり

2014年12月号



## 日本聖公会 三光教会

第632号

〒142-0064 東京都品川区旗の台6-22-24

電話 03 (3781) 2554

FAX 03 (3781) 2544

<http://nssk.org/tokyo/church/sanko/stephen/>

### クリスマス

主のもとでは、一日は千年のようで、千年は一日のようです。(ペテロ II 3:8)

創立 救主降誕 1912年(大正元年)11月2日

天使たちが離れて天に去ったとき、羊飼いたちは、「さあ、ベツレヘムへ行こう。主が知らせてくださったその出来事を見ようではないか」と話し合った。(ルカ2:15)

司祭 グレース 神崎 和子

イエス様は、今から約二千年前、ユダヤの小さな村ベツレヘムでお生まれになりました。イエス様はこの世に新しい救いの光をもたらすために、お生まれになったのです。

ルカの福音書では、私たちを治めるのは、あの巨大な力と権力を持つローマの皇帝ではなく、飼い葉桶に寝かされている、小さな乳飲みみ子であると云うのです。

人々の飢え渇く心を満たすことが出来るのは、あの強力な権力を持つて実現した、「ローマの平和」ではなく、また富でも、武器でもありません。心からの愛と赦しなのです。そのために、イエス様は肉体を持ってこの世にこられました。

そしてそれは馬小屋の中で、ひっそりと起こった出来事なのです。静かに起こった出来事ではありません。大きな希望の光でもありました。実は大切なこと、重大なことは、ひそやかに、ひっそりと起こるので

す。だからこそ、その時を見逃さないように、「目をさまして、目をしっかりと開けて」その出来事に立ち会えるようになりたいと思います。あの寒空の下で羊の番をしていた、羊飼いのように。

「主が知らせてくださったその出来事を見ようではないか」と言ってお出掛けられるように準備しておきたいと思えます。

暴力や武力が覆う、二十一世紀のこの世界の中で、主イエス・キリストの平和が実現されるように、み心にそう世界になれるように、ひそやかな徴を見逃さないように、目を覚ましていきましょう。

あの羊飼いたちのように、その出来事の立ち会い人とされること。私たちがキリスト者には託されているのではないのでしょうか。

平和の君である主イエス・キリストのご降誕を共に祝いましょう。

12月～1月の予定

26日(月)	25日(日)	21日(水)	20日(火)	18日(日)	17日(土)	16日(金)	13日(火)	11日(日)	10日(土)	6日(土)	5日(金)	4日(木)	1日(木)	◆1月	31日(水)	29日(月)	28日(日)	27日(土)	26日(金)	25日(木)	24日(水)	22日(月)	21日(日)	◆12月
聖パウロ回心日(25日より)	顕現後第3主日	殉教者おとめアグネス	聖書の学び(新約)	殉教者主教ファビアン	顕現後第2主日	修院長アントニオ	聖書の学び(旧約)	聖書の学び(新約)	聖書の学び(旧約)	主イエス洗礼の前日	主イエス命名の日	降誕後第2主日	降誕日前夕	顕現日	主イエス命名の前日	聖なる幼子の日(28日より)	主イエス命名の前日	降誕後第1主日	福音記者使徒聖ヨハネ日	最初の殉教者聖ステパノ日	降誕日	降誕日前夕	使徒聖トマス日(21日より)	降臨節第4主日

### 婦人会だより

《11月》

11月16日 出席34名

社会委員会、学びの会と合同でNPO法人コーヒータイムの理事長橋本由利子氏のお話を伺う。

「コーヒータイム」は、福島県二本松市にある障がい者自立支援のための施設。心に障がいを持つ方々が「社会の一步」を学んでいる。福島県浪江町にあった施設が、原発事故のため二本松へ避難し、三光教会は支援を続けています。

(記・森川恵美子)

### 男子会だより

《11月》

11月16日に日本キリスト教団洗足教会壮年会との交流会が洗足教会であり、礼拝後訪問した。この会合は6年続いており、年に2回、両教会が輪番で情報交換、学び合い、祈り合いの会を開催している。今回の出席者数は両教会とも9名で合計18名。神崎司祭は初参加なので挨拶された。

・洗足教会は改革長老派に属する教会で、その教義は、聖書の教えの実践を最も重視する。たいせつにしている教会の詳細な規則が紹介された。洗足教会は1923年に創立さ

れ、1932年に現在の場所(旗の台)に移転してきた由。

・聖公会の教義、また、日本聖公会および三光教会の歴史については、橋本伝道師が説明し、また、鈴木一兄に依頼してこの交流会のために準備してもらった原稿を柳原が代読した。

・終了後、教会へ帰り11月例会を実施。主として本年度の男子会総会を12月13日(土)に行うことを決定。詳細は会員に追って通知することにした。

(記・柳原仁哉)

### 青年会だより

《11月》

・フリリピンステパノ教会へ、青年会から写真とクリスマスカードを送付予定です。そのために教会内の様子が分かるような写真を撮っています。来年度来られる方々にも見ていただき、三光の雰囲気も少し感じ取っていただければと考えています。

・青年会の中でもフリリピンについて勉強していく必要があると思いますが、現在は学びの一貫として映画鑑賞などを考えています。

・最近はおコライトなどで若者が増えており非常に感謝しております。これから増々若い人が教会につな

がっていけるよう引き続きお祈りください。

(記・村上紗知子)

### 「コーヒータイム」

#### 理事長のお話を聞く

10月10日、私達は「コーヒータイム」の代表の橋本由利子さんからお話を聞く機会を得ました。「コーヒータイム」は福島県二本松市にあり、心に障がいを持つ方々のための事業所です。ネーミングの通り喫茶店の運営を通して、信頼できる仲間達、スタッフと共に地域から社会へとつながりたいと、自立を願って日々活動しています。

もともと、この「コーヒータイム」は福島県双葉郡浪江町にありました。しかし福島第二原発の原子炉爆発事故で浪江町は警戒区域に指定され、施設利用メンバーとスタッフは全員避難し、不安な生活が始まりました。橋本さんはその中でメンバーの安否確認や健康・精神のチェックに心を配り、繋がりを保ち続けました。時間を経ていく中で浪江町に戻ることはむずかしいと判断した橋本さんは、浪江町役場の移転先である二本松市で精神障がい者の居

場所的な事業所の再開を決心されたということでした。

再オープンした2011年10月には6名だった利用者が今は20名に、2013年11月には近くに他の作業も出来る事業所を借り入れ、少しずつ二本松市に根づきつつあります。

三光教会と「コーヒータイム」の出会い、2012年にマーマレードを販売しての収益を被災した精神障がい者の支援に捧げようと献金先を探していた時に橋本さんを知ったことに始まります。そして同年6月にカフェを訪問する機会を得ました。一時はバラバラになってしまったメンバーも少しずつ戻り始めた頃で、「またみんなに会えて一緒に働ける」という安心感とうれしさが私達にも伝わってくるようでした。

そして今年、三光教会の震災支援の一環として「被災した障がい者のために」という枠の中で「コーヒータイム」が奉献先に決まり、橋本さんにお出でいただき、お渡しするこ

とが出来ました。教会での礼拝ははじめての御様子でしたが、「今でも東日本大震災のために祈ってください」と

感動されて、浪江町でまだ行方わからない33名の方々を思い祈られたそうです。

お話の最後に「私達に出来ることは何ですか」と質問したら、「福島みんなもがんばっているね、と遠くから見守ってほしい、忘れないでいただきたい」とメッセージをくださいました。「三光教会からの献金をもとにして、自分たちの新たな事業所設立のための通帳を別につくりました」と言われました。

二本松での橋本さんのお働きに神さまのお力添えがありますように。そして、今なお仮設住宅で生活を余儀なくされている橋本さんほか大勢の方々の御健康を切にお祈りいたします。(記・小笠原 溢子)

### ■エヴァの家から

今年も収穫感謝のお捧げ物のおさがりを教会から頂戴しました。

今年、おいしい果物がたくさんでした。夕食会に集まった人達には食後に、夕食のない日にいらした人達は、おやつに頂戴しました。ありがとうございました。

(記・平野 淳子)

### ■編集後記

教会財政の緊縮に伴って、長らく印刷会社に依頼していた教会報「ひかり」の誌面作成(組み版)の入力作業から印刷まで、教会委員会からの要請で今年4月から毎月広報委員の手で行なうことになりました。試行錯誤を重ねつつ月刊のペースを維持して、どうやらクリスマス号の発行まで漕ぎつけることが出来ました。教会のみなさまの御協力が有つてのことと感謝します。

教会報を自主制作するようになって幾つかの技術上のカベを実感しておりますが、最大の困難点は写真原稿をきれいに再現できないことです。パソコンによる組み版の画面は鮮明であっても、それを教会備え付けの印刷機に掛けると濁った刷り上がりになってしまいます。「教会報は教会史でもあるから写真を鮮明にして欲しい」という注文が少なからず寄せられるのですが、印刷を教会備え付けの機器を用いて処理する限り画質を鮮明にすることは難しいです。当面の対策として写真の掲載を我慢している事情をお察しください。(広報委員会)

#### 教会のお掃除にご協力を

聖堂内外のお掃除の協力者が少なくなりました。土曜日の午前10時からお昼までご奉仕ください。ご協力いただける方は直接参加してください。

#### はじめて教会にいらした方へ

- 礼拝様式に馴れない方は、礼拝中椅子にお掛けになったままで結構です。
- 礼拝中の献金は、信施金として伝道のために献げられるものです。金額は自由です。
- わからない点は隣の席の者か入口の案内係にお聞きください。

#### 礼拝のご案内

- 主日礼拝
  - 午前 7:00 早祷・嘆願
  - 午前 7:30 聖餐式
  - 午前 9:00 ステパノ会  
(日曜学校) 礼拝
  - 午前 10:30 聖餐式
  - 午後 4:00 夕の礼拝
- 平日礼拝  
月曜日から土曜日までは、毎朝6:30の早祷に引き続いて聖餐式